

同時資料配布先：

経済産業記者会
エネルギー記者会
筑波研究学園都市記者会
学研都市記者クラブ

2016年11月28日

二酸化炭素地中貯留技術研究組合

CCS テクニカルワークショップ 2016
「安全な大規模 CO₂ 地中貯留に向けて」
開催について

当組合では、大規模発生源から分離回収した二酸化炭素（CO₂）を地下深部に貯留する CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）に関するワークショップを 2017 年 1 月 19 日に開催いたします。

地球温暖化防止のための世界的枠組みパリ協定が 11 月 4 日に発効し、その目標達成に向けて革新的な対策技術が求められる中、CCS は CO₂ 削減の重要な選択肢の一つとして期待されています。CCS の実用化および普及に向けては、技術開発に加え、CO₂ 貯留の安全性を確保し、社会的信頼を得ることも重要です。

本ワークショップにおいては、海外の大規模 CCS プロジェクトに携わる専門家をお招きし、技術課題のほか、法規制や社会的受容性など CCS に関する多岐にわたる内容についてご講演いただきます。また併せて、本年 4 月に設立された当組合の取り組みについてもご紹介します。

1. 開催概要

日 程 2017 年 1 月 19 日（木） 10:00～17:15（9:15 受付開始）

会 場 虎ノ門ヒルズフォーラム「メインホール」

定 員 350 名

参加費 無料

主 催 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

組合員：応用地質株式会社、国際石油開発帝石株式会社、石油資源開発株式会社、大成建設株式会社、国立研究開発法人産業技術総合研究所、公益財団法人地球環境産業技術研究機構

共 催 経済産業省

言 語 日本語、英語（同時通訳有り）

U R L <http://www.rite.or.jp/news/events/2016/11/ccs2016.html>

2. プログラム

モデレーター：

京都大学 学際融合教育研究推進センター インフラシステムマネジメント研究拠点ユニット
特任教授 松岡 俊文

（敬称略）

時間	項目	演題（仮） 講演者名
(9:15-)		(受付開始)
10:00-10:05	開会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 山地 憲治
10:05-10:10	共催者 挨拶	経済産業省 産業技術環境局 地球環境連携室長 松村 亘
10:10-10:15	趣旨説明	京都大学 特任教授 松岡 俊文

10:15-11:15	講演 1	米国の CCS 政策および R&D 動向 United States Department of Energy Darin Damiani
11:15-12:15	講演 2	米国イリノイ州における帯水層貯留のアップスケールリング： IDBP から産業 CCS プロジェクトへ Illinois State Geological Survey Sallie Greenberg
12:15-13:30		昼食休憩 & ポスターセッション
13:30-14:30	講演 3	商業規模 CCS に向けての準備ステージ Independent Consultant Robert Finley
14:30-15:30	講演 4	Quest プロジェクトにおける複数坑井による帯水層への圧入戦略 Shell Simon O'Brien
15:30-16:00		コーヒーブレイク & ポスターセッション
16:00-17:00	講演 5	二酸化炭素地中貯留技術研究組合による取り組み 二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
17:00-17:10	総括	京都大学 特任教授 松岡 俊文
17:10-17:15	閉会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事 今村 聡
(閉会后)		意見交換会 (会費制)

3. 参加登録

■申込方法

下記の参加申込記載事項をご記入の上、E-mail にて ccsws@rite.or.jp までお申込み下さい。

■参加申込み記載事項

- ①お名前 (漢字) : ②お名前 (かな) : ③会社名 (漢字) : ④会社名 (かな) : ⑤部署名 : ⑥役職名 :
⑦お電話番号 : ⑧Email アドレス : ⑨意見交換会 (参加・不参加) :
⑩今後の関連イベント案内の送付 (可・不可) :

※当日は申込み控え (E-mail の申込みプリント) をご持参下さい。

※定員になり次第、締め切らせていただきますので、予めご了承下さい。

※意見交換会へご参加の方は 会費 (3,000 円) を当日徴収させていただきます。

※取材を希望される報道関係者の方は、メールにプレス登録希望と記載をお願いします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。

■お申込み先

CCS ワークショップ 2016 事務局

E-mail : ccsws@rite.or.jp TEL : 06-6372-3053

ワークショップの内容・参加登録に関するお問合せ先：

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 CO₂ 貯留研究グループ 中西、平井
TEL : 0774-75-2309 E-mail : ccsws@rite.or.jp

本プレス発表に関するお問合せ先：

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 中村、辰巳
TEL : 0774-75-2301 E-mail : pub_rite@rite.or.jp

CCSテクニカルワークショップ2016

安全な大規模CO₂地中貯留に向けて

日程 平成29年1月19日 (木)

10:00~17:15 (9:15受付開始)

会場 虎ノ門ヒルズフォーラム「メインホール」

〒105-6305 東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー5階

「神谷町駅」3番出口徒歩約6分・「虎ノ門駅」1番出口徒歩約5分・「新橋駅」烏森口出口徒歩約11分

<http://forum.academyhills.com/toranomon/access/index.html>

定員 350名

(定員になり次第、
締切らせていただきます。)

言語 日本語、英語

同時通訳有り

参加費 無料

ワークショップ終了後、
意見交換会を実施します。
(会費制3,000円)



主催 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

共催 経済産業省

お申込み・お問合せ先

■申込方法

下記の参加申込み記載事項を記入の上、ccsws@rite.or.jp までお申し込みください。

参加申込み記載事項

- | | | |
|-------------|-------------|--------------------------|
| ①お名前 (漢字) : | ④会社名 (かな) : | ⑦お電話番号 : |
| ②お名前 (かな) : | ⑤部署名 : | ⑧Emailアドレス : |
| ③会社名 (漢字) : | ⑥役職名 : | ⑨意見交換会 (参加・不参加) : |
| | | ⑩今後の関連イベント案内の送付 (可・不可) : |

※当日はご面倒ですが、申込み控え (E-mailの申込みプリント) をご持参ください。
※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。
※定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。
※意見交換会会費については、当日徴収させていただきます。

■お申込み・お問合せ先

CCSワークショップ2016事務局

E-mail : ccsws@rite.or.jp TEL : 06-6372-3053



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry



Research Institute of Innovative
Technology for the Earth



開催趣旨

地下深部塩水性帯水層への大規模なCO₂地中貯留プロジェクトは、長年、ノルウェー等での3件にとどまっていた。しかし、2015年にカナダで帯水層貯留の大規模プロジェクトが稼働し、2017年には米国と豪州での稼働が見込まれています。日本においても、2016年に年間10万トンレベルのCO₂を帯水層に圧入する苫小牧実証プロジェクトが開始されています。このように、ここ数年、新しいプロジェクトの動きがあり、帯水層への安全な圧入・貯留に対する知見の更なる蓄積が期待されます。

本ワークショップでは、カナダのQuest、米国のDecatur盆地のプロジェクトといった実施中、あるいは今後実施される可能性のある実プロジェクトから専門家をお招きし、安全な大規模CO₂地中貯留に向けて、技術的な課題のほか、法規制や社会的受容性、CCS分野で世界をリードする米国の現状などについてご講演いただきます。

2016年4月に、実用化規模の二酸化炭素地中貯留技術の研究開発を実施するため、応用地質株式会社、国際石油開発帝石株式会社、石油資源開発株式会社、大成建設株式会社、国立研究開発法人産業技術総合研究所、公益財団法人地球環境産業技術研究機構を組合員として、「二酸化炭素地中貯留技術研究組合」が設立され、本ワークショップを主催することになりました。「二酸化炭素地中貯留技術研究組合」の研究開発の取り組みについてもご紹介いたします。

プログラム

モデレーター

京都大学 学際融合教育研究推進センター インフラシステムマネジメント研究拠点ユニット
特任教授 松岡 俊文

(敬称略)

	プログラム	演題(仮)	講演者名
9:15-	受付		
10:00-	開会挨拶		二酸化炭素地中貯留技術 研究組合 理事長 山地 憲治
10:05-	共催者挨拶		経済産業省 産業技術環境局 地球環境連携室長 松村 亘
10:10-	趣旨説明		京都大学 特任教授 松岡 俊文
10:15-	講演1	米国のCCS政策およびR&D動向	United States Department of Energy Darin Damiani
11:15-	講演2	米国イリノイ州における帯水層貯留のアップ スケールリング: IDBPから産業CCSプロジェ クトへ	Illinois State Geological Survey Sallie Greenberg
12:15-	昼食休憩 & ポスターセッション		
13:30-	講演3	商業規模CCSに向けての準備ステージ	Independent Consultant Robert Finley
14:30-	講演4	Questプロジェクトにおける複数坑井による 帯水層への圧入戦略	Shell Simon O'Brien
15:30-	コーヒーブレイク & ポスターセッション		
16:00-	講演5	二酸化炭素地中貯留技術研究組合による 取り組み	二酸化炭素地中貯留技術 研究組合 技術部長 薛 自求
17:00-	総括		京都大学 特任教授 松岡 俊文
17:10- 17:15	閉会挨拶		二酸化炭素地中貯留技術 研究組合 理事 今村 聡

※講演者名、演題、講演時間等は変更になる場合があります。